

	主催大会	公認大会	準拠大会（仮称）
主旨	JOAが主催する大会	JOAの定める競技規則類を遵守し、そのためのガバナンス体制を整備する大会を認定する。JOAがイベントアドバイザーを通して品質保証する。	JOAの定める競技規則類の遵守することを目指す大会。主催者が品質保証に責任を持つ。
主催者決定の手続き	JOAが主催者を指名し運営を委託する	主管希望者がJOAに申請を出し、競技委員会が審査の上承認する	主催者がJOA事務局に届出を行う（逆に、届なく勝手にJOA諸規則の適用を謳うことを禁止する） （新設）
現行制度との対応	全日本大会4種目 日本代表選考会 インターハイ	公認A,B,S インカレ※現行では競技規則が別にあるので単純にマージできない	
対象競技	フットオリエンテーリングのポイント-O競技全般（リレー含む）		
クラス分け	各大会ごとの設置クラスを規則として定義し、原則としてそれを適用する	JOAの定める標準クラス分けを推奨する（必須ではない） 標準クラス分けから逸脱する場合、若年者・高齢者・技術レベルの低い選手用のクラスを適切に用意していることが必要。	制限なし
全日本大会の予選	全日本ミドル・ロング・スプリントにおいては、翌年の同大会もしくは別種目の全日本大会の予選となるクラスを設置する	男女各最上位クラスを全日本予選用クラスに設定することが出来る（設定しないことも可能） ・フォレスト競技が全日本ミドル・ロングの予選となり、 ・スプリント競技が全日本スプリントの予選となる ※リレー大会では設置不可 ※参加者が多くヒート分けが必要で、セレクションであれば学生と一般で分けてもOK ※インカレは選手権クラスに対して特例適用 ※中学生以下は出場は可能だが全日本ロング21E権の対象とはならない	設定不可
使用地図の図式	IOF地図図式		
公認料・会員支援金	<p>【提言】 参加者・運営者の納得度が向上するように、公認料・会員支援金の制度を改正する 基本料+参加人数×従量料金を基本とした制度とする 会員支援については、支援方法・集める支援金の金額などを再検討するとともに、学生登録のある会員への補助をなくす代わりに学生からも競技者登録費を徴収し、その一部を会員に渡す</p> <p>・基本料がフォレスト20000円、スプリント10000円程度 ・従量料金が、Aクラス以上に対してフォレスト500円、スプリント300円程度。学生からも少し頂く。</p>		不要
参加資格	Aクラス（もしくはそれと同等難易度のクラス）以上は競技者登録必須、他はなし 公認リレーの参加資格は普及的側面も考慮してチーム内に最低1名競技者登録者を含むこと		不要
ガバナンス体制	<ul style="list-style-type: none"> 運営責任者・競技責任者がディレクタ資格を保有 イベントアドバイザーがEA資格を保有 裁定委員制度を設置 	<ul style="list-style-type: none"> 運営責任者・競技責任者がディレクタ資格を保有※ イベントアドバイザーがEAまたは準EA資格を保有※ 裁定委員制度を設置 <p>※イベントアドバイザーはJOAから外部の者を派遣されることが原則だが、主管者の中に有資格者が居る場合は運営組織から独立すれば可能（規則に明記）。 ※資格保有者現在十分数いないため、経過措置として運営・競責は当面インストラクター資格でも可とする。イベントアドバイザーもディレクタ資格で可とする。 ※JOAからイベントアドバイザー費用（交通費）を出す。</p>	資格は不要 イベントアドバイザーと裁定委員制度の設置を推奨
年齢別ランキング	対象		
運営サポート	賠償責任保険・傷害保険の利用 救護用品貸出 EA講習会の無料受講が可能		賠償責任保険・傷害保険の利用
申請ワークフロー	<p>計画立上 →[仮申請]（6か月前までに） →地元渉外 →目途がつき次第[本申請]（3か月前までに） →[承認] →募集要項発表</p> <p>※過去に公認大会の開催実績があり、かつ地元と良好な関係が保たれる見通しがある場合のみ仮申請の申請期限は猶予されることがある。 ※仮申請から重要事項が変更される場合は、速やかに修正とその理由書が必要。 ※承認を受けられるか否かは主管者の過去の大会実績も参照し決定される。</p>		募集要項の公開前に事務局に届け出る。